

# 平成31年度 福岡市の教育施策

めざす子ども像(教育の目標)

やさしさとたくましさをもち  
ともに学び未来を創り出す子ども



**福岡スタンダード**

～福岡の子どもたちに大切にしてほしいこと～

**生活習慣の柱**

あいさつ・掃除

**学びの柱**

自学・とも学

**未来への柱**

チャレンジ・立志

福岡市教育委員会

# 目次

	ページ
I 平成31年度 教育委員会 運営方針	1
1 施策・事業の推進	2
○ 第2次教育振興基本計画の施策概要	
ア 確かな学力の向上	4
イ 豊かな人権感覚と道徳性，健やかな体の育成， 読書活動の推進	6
ウ いじめ・不登校等の未然防止・早期対応	7
エ 特別支援教育の推進	8
オ 魅力ある高校教育の推進	10
カ グローバル社会を生きるキャリア教育の推進	10
キ チーム学校による組織力の強化， 教員が子どもと向き合う環境づくり	11
ク 学校と家庭・地域等の連携強化	12
ケ 資質ある優秀な人材の確保， 教職員の資質・能力の向上・活性化	12
コ 安心して学ぶことができる教育環境の整備	13
サ 子どもの安全確保に向けた取組みの推進	14
シ 家庭・地域等における教育の推進	14
○ その他の主な施策概要	
ア 人権教育の推進	15
イ 図書館事業の充実	15
ウ 標準服のあり方検討	16
2 事業・業務等の見直し	17
3 コンプライアンスの推進，人材育成・活性化等	18
II 教育委員会予算	19
III 教育委員会組織図	20

# I 平成31年度 教育委員会 運営方針

## はじめに

平成21年6月に福岡市の教育の指針を示す教育振興基本計画として「新しいふくおかの教育計画」を策定し、取組みを進めてきましたが、計画期間の10年を終了することから、第2次となる教育振興基本計画を策定しています。（平成31年6月策定予定）

第2次計画では、教育の目標となるめざす子ども像に「やさしさとたくましさをもちともに学び未来を創り出す子ども」を新たに掲げるとともに、福岡スタンダードを福岡の子どもたちに大切にしてほしいこととして、新たに「とも学」と「チャレンジ」のキーワードを加え、「あいさつ・掃除」を生活習慣の柱、「自学・とも学」を学びの柱、「チャレンジ・立志」を未来への柱として発展的に整理しています。

また、これまでの取組みの継続性をベースにしつつも、新たな取組みを加えた17の施策を定め、取組みの方向性を示すとともに、その施策を貫く柱として、特に重視する3つの教育の方法「福岡スタイル」を新たに掲げ、本市教育行政の推進を図っていきます。

### <福岡スタイル>

- ★ 9年間を見通した小中連携教育
- ★ 子ども・家庭への支援
- ★ ICTを活用した教育活動の充実

### <施策>

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1 確かな学力の向上             | 11 資質ある優秀な人材の確保        |
| 2 豊かな人権感覚と道徳性の育成       | 12 教職員の資質・能力の向上・活性化    |
| 3 健やかな体の育成             | 13 コンプライアンスの推進         |
| 4 いじめ・不登校等の未然防止・早期対応   | 14 安心して学ぶことができる教育環境の整備 |
| 5 特別支援教育の推進            | 15 教員が子どもと向き合う環境づくり    |
| 6 魅力ある高校教育の推進          | 16 子どもの安全確保に向けた取組みの推進  |
| 7 グローバル社会を生きるキャリア教育の推進 | 17 家庭・地域等における教育の推進     |
| 8 読書活動の推進              |                        |
| 9 チーム学校による組織力の強化       |                        |
| 10 学校と家庭・地域等の連携強化      |                        |

上記、第2次教育振興基本計画の基本的な方向性に沿って取り組む、具体的な事業や取組事項について、平成31年度教育委員会運営方針として、次ページ以降に示します。



## 重点的な取り組み

### 1 施策・事業の推進

#### 現状及び課題

##### (1) 確かな学力の向上

福岡市全体の学力の底上げに取り組むとともに、新学習指導要領の完全実施に向け、学習の基盤となる資質に位置付けられた「情報活用能力」の育成や「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、ICTを活用した教育活動の充実に向けた取り組みが必要である。

##### (2) 教育相談・支援体制の充実

児童生徒を取り巻く環境が多様化・複雑化しており、専門性の高い支援体制とともに、子どもが抱えるいじめや虐待などの課題の未然防止や早期対応するための多様な相談体制が必要である。

##### (3) 特別支援教育の推進

医療技術の進歩等により医療的ケアが日常的に必要な児童生徒が増加するとともに、個々の教育的ニーズ等に応じた就学先の決定ができるよう教育相談・支援が求められている。

また、高等学校における通級指導の制度化を踏まえ、通級指導が必要な生徒への対応が求められている。

##### (4) 豊かな人権感覚と道徳性、健やかな体の育成、読書活動の推進

新学習指導要領において、体験活動の重視、体育・健康に関する指導の充実により、豊かな心や健やかな体を育成することが掲げられており、取り組みの推進が必要である。

##### (5) 教員が子どもと向き合う環境づくり

教員が児童生徒と向き合う時間を確保し、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性を高め、児童生徒に真に必要な指導を持続的に行うことができる環境を作り出すため、学校における業務の明確化・適正化や勤務時間の在り方に関する意識改革などの取り組みが必要である。

##### (6) 安全・安心な教育環境の整備

適切な改修時期を過ぎた学校施設の累積や、一部の地域では大規模な住宅開発などによる児童生徒の増加が顕著であることから、子どもたちが安全・安心かつ、適正な教育環境で学ぶことができるよう整備が急務である。



## 取組みの方向性・具体的な取組み

### (1) 確かな学力の向上

全小学校で引き続き放課後補充学習を実施するとともに、普通教室のICT環境を整備し、各教科におけるICTを活用した教育活動の充実や、教育クラウドの構築により、児童生徒の学習や教員の教材研究を支援する。

また、小学校での外国語活動導入を見据えた小学校3年生へのゲストティーチャーの配置時間の拡充などの取組みを推進する。

### (2) 教育相談・支援体制の充実

全ての中学校区における教育と心理と福祉の専門家が連携した支援の充実を図るとともに、新たにSNSを活用した教育相談体制を構築し、いじめや虐待などの課題の未然防止、早期対応を図る。

### (3) 特別支援教育の推進

特別支援学校に加え、小・中学校に学校看護師を配置し、医療的ケアが必要な児童生徒の教育機会の確保や保護者の負担軽減を図るとともに、新たに市立高校で通級指導教室を開始し、個々の生徒の障がいの状態等に応じた指導の充実を図るなど、特別支援教育を推進する。

### (4) 豊かな人権感覚と道徳性、健やかな体の育成、読書活動の推進

学校司書の配置を拡充し、全ての小中学校において学校図書館の充実と読書活動の推進に取り組むとともに、栄養教諭の増員による食育の推進や部活動指導体制の充実などを行う。

### (5) 教員が子どもと向き合う環境づくり

共同学校事務室の全市展開やスクールソーシャルワーカー、部活動指導員などの専門スタッフとの連携など学校業務の効率化を図るとともに、教育クラウドなどICTの活用による教員の働き方改革を進め、教員が子どもと向き合う環境づくりを推進する。

### (6) 安全・安心な教育環境の整備

安全で良好な教育環境の維持と確保を図るため、ブロック塀の改修を含む学校施設等の整備を計画的かつ効率的に進めるとともに、地域の実情に応じた学校規模適正化の手法の検討など必要な対応を行う。



# 第2次教育振興基本計画の施策概要

## ア 確かな学力の向上

小・中学校9年間の発達段階区分に応じた教育を推進するため、35人以下学級、一部教科担任制及び少人数指導を継続して実施するとともに、義務教育9年間の教育活動を見通した小中連携教育を推進します。

また、小学校等の普通教室へ常設プロジェクタや指導者用タブレット等を整備し、ICTを活用した教育活動の推進を図ります。

小中一貫教育を開始する能古小中学校においては、児童生徒用として授業に応じた1人1台のタブレット等を整備するなど、魅力ある教育の推進を図ります。

(★：新規事業，☆：拡充事業)

★教育ICT活用推進事業 146,568千円

ICTを活用した教材の共有等による教育の質の向上及び教員の負担軽減



- ・学力パワーアップ総合推進事業 123,537千円  
各校の学力課題を踏まえた取組みによる学力向上の推進、ふれあい学び舎事業の実施

- ★能古小学校・能古中学校における小中一貫教育 4,083千円  
福岡市で初めて小中一貫教育を実施する能古小中学校において、児童生徒用タブレットを1人1台整備するなど、最先端のICT教育を実施

能古小学校・能古中学校における小中一貫教育

平成31年  
4月開始

**魅力1**

**最先端のICT環境**

**1人1台※のタブレット** **タブレット60台整備**

※授業に応じて1人1台のタブレットが使用可能

- ・学級全体で発表や話し合い
- ・自分やグループの意見をまとめる

**デジタル教科書**

- ・音声・動画で分かりやすく
- ・教師の教材準備時間が半減

**電子ドリル教材**

- ・習熟度に合わせて問題が選べる
- ・教師は学習状況を把握

**魅力2**

**小1からの英語教育**

- ・コミュニケーションを中心に「使える英語力」を

**魅力3**

**新設の教科「ふるさと科」**

- ・能古島の自然,歴史,文化を学ぶ体験学習
- ・学んだことをインターネットで世界に発信

**魅力4**

**小中の教員が協働で支援**

- ・小学校5,6年生に中学校教員の専門的な指導を
- ・9年間,全ての教員で児童生徒の成長を見守る環境を

- ・保幼小中連携の推進 25,165千円  
福岡市保幼小中連絡協議会の開催及び雁の巣幼稚園の跡地活用に係る園舎解体等

- ・地域学び場応援事業 3,000千円  
保護者を中心とした地域ボランティアによる放課後補充学習の活動支援



- ・ **小学校外国語科支援事業** 183,601千円  
2020年度からの小学校5・6年の外国語教科化に向けたネイティブスピーカーによる英語教育の先行実施
- ☆ **小学校外国語活動支援事業** 33,943千円  
2020年度からの小学校3・4年生の外国語活動導入に向けたゲストティーチャーによる英語教育の先行実施(小学校3年生におけるゲストティーチャーの配置時間の拡充)
- ・ **ネイティブスピーカー(外国人英語指導講師)委託事業** 287,039千円  
中学校等にネイティブスピーカーを35時間/年配置
- ・ **子ども日本語サポートプロジェクト** 24,580千円  
日本語指導が必要な児童生徒への支援の実施
- ・ **生活習慣・学習定着度調査** 12,000千円  
生活習慣等の調査(小4, 5及び中1, 2), 学習定着度の調査(小3~5及び中1, 2)
- ・ **ことば響く街ふくおか推進事業** 2,040千円  
「音読・朗読交流会」などを通して、子どもたちの豊かな表現力を育成

## イ 豊かな人権感覚と道徳性, 健やかな体の育成, 読書活動の推進

学校教育活動全体を通じた人権教育や, 考え, 議論する道徳教育により多様性を認め合い, 人権を守ろうとする意識・態度をはぐくむとともに, 学校の特色を生かした様々な体験活動を通して, 豊かな心の育成を図ります。

また, 「遊び」をキーワードとして運動習慣の基礎を培い, 運動に親しむことを通して, 体力向上の取組みを推進するとともに, 健全な食生活の基礎となる食育を推進し, 生涯にわたって心身の健康を保持増進していく力の育成を図ります。

子どもが進んで学校図書館に足をはこび学習に役立てるとともに, 読書の楽しさを味わえるよう「読書・学習・情報」センターとしての機能を充実し, 確かな学力の向上及び豊かな心の育成を図ります。

また, 学校司書の配置を拡充し, 学校図書館や授業の充実を図ります。

- ・ **特色ある教育推進事業** 18,027千円  
全ての市立小・中・高・特支学校で, 地域人材や社会施設等を活用し, 国際理解や福祉など各学校の実情に応じたテーマについて実施
- ・ **学校における人権教育** 15,737千円  
各学校における研修費用の負担, 研究団体に対する研修費の交付
- ・ **自然教室** 101,080千円  
各学校の実態(児童生徒の状況, 校区の環境など)に即したねらいをたて, より高い教育的効果が得られる自然体験活動を実施
- ・ **部活動の指導体制の強化** 102,230千円  
中学校, 高等学校での部活動指導体制の充実及び教員の負担軽減のため, 部活動指導員及び補助指導者を配置
- ・ **体力向上推進事業** 2,445千円  
児童生徒の体力向上を目指し, 小学校に実技指導員, 中学校にスポーツ指導員を派遣

### ☆栄養教諭の計画的配置増による食育の推進

栄養教諭を増員し, 食育推進により基本的生活習慣の定着を促進



・ **アントレプレナーシップ教育** 5,478千円  
 小学校における「CAPS」、中学校における「未来を切り拓くワークショップ」等のキャリア教育を推進

・ **子ども読書活動の推進** 6,223千円  
 子ども読書フォーラム、スタンダード文庫読み聞かせ講座、子どもと本の日通信等

☆ **「子どもと本をつなぐ学校図書館」推進事業** 50,784千円  
 学校司書の配置を拡充し、全ての小中学校において、学校図書館の充実と読書活動の推進に取り組み、確かな学力と豊かな心を育成



## ウ いじめ・不登校等の未然防止・早期対応

いじめや不登校、虐待をはじめとする、子どもが抱える様々な課題への取組みを小中学校が連携して推進するため、スクールソーシャルワーカーや不登校対応教員を配置し、こども総合相談センター等の関係機関とも連携しながら、課題を抱える子どもへの支援を行います。

また、Q-Uアンケートやネットパトロール、SNSを活用した教育相談などにより、いじめや不登校などの兆候をいち早く把握し、早期対応を行います。

さらに、「いじめを生まない都市ふくおか」を実現するため、児童生徒が主体的に取り組む「いじめゼロサミット」の開催や「いじめゼロ宣言」に基づく各学校での取組みを支援します。

☆ **スクールソーシャルワーカー活用事業** 267,568千円  
 全国で初めて教職員定数を活用した常勤のスクールソーシャルワーカーを正規職員として各区に配置

・ **スクールカウンセラー等活用事業** 122,194千円  
 小呂・玄界小中学校を除く、市立小中学校・高等学校・特別支援学校にスクールカウンセラーを配置(小呂・玄界小中学校には心の教室相談員を配置)

・ **いじめ・不登校ひきこもり対策支援事業** 31,178千円  
 児童生徒の学級集団における心理状況を把握するため、学級集団アセスメント(全市一斉Q-Uアンケート)を実施

・不登校対応教員の配置

不登校児童生徒への対応を専任で行う教員を小呂中、玄界中を除く67中学校に配置

・教育相談機能の充実 74.131千円

教育カウンセラーによる電話相談等の実施, 適応指導教室の運営

★SNSを活用した教育相談体制構築事業 15,033千円

いじめや不登校, 虐待などの様々な悩みを抱える市立小中高生を対象として, LINEを活用した教育相談を実施

周りに相談ができない  
悩みをかかえた子どもたち  
(福岡市立学校の児童生徒)

SNS専門の相談員



・いじめゼロプロジェクト 2,850千円

児童生徒が主体となった, いじめに対する取組みを推進するための「いじめゼロサミット」の開催等

・学校ネットパトロール事業 5,650千円

専門事業者への委託による学校非公式サイト等の監視, 学校等への情報提供

## エ 特別支援教育の推進

一人ひとりの教育的ニーズを把握し, その持てる力を高め, 生活や学習上の困難を改善し又は克服するための適切な指導及び必要な支援を行うため, 小・中学校の特別支援学級や通級指導教室の整備に加え, 市立高校にも通級指導教室を設置し, 教育環境の充実を図ります。

また, 配慮を要する児童生徒に対し, 担当教師と連携し学習活動や学校生活に必要な支援を行う学校生活支援員を配置します。

さらに, 医療的ケアが必要な児童生徒を支援する学校看護師を特別支援学校に加え, 小中学校にも配置を実施し, 支援体制の充実を図ります。

・特別支援学級の整備 16,159千円

特別支援学級の新設に伴う附帯工事, 設備更新等

☆学校生活支援事業 189,852千円

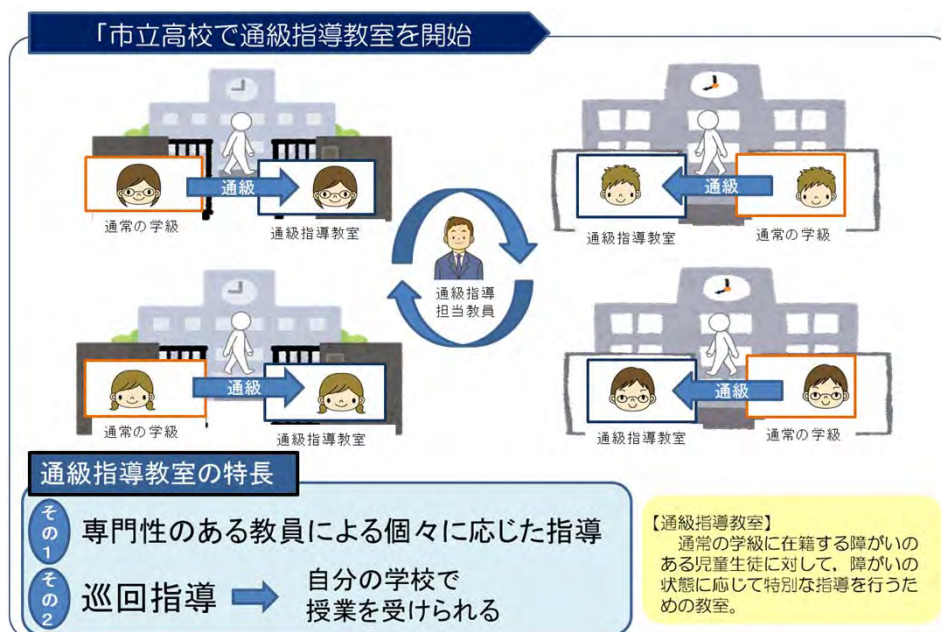
配慮を要する児童生徒を支援するための学校生活支援員を小・中学校に配置



・ **特別支援学校就労支援事業** 10,275千円  
 就職指導員による職場開拓, 実務者による技能指導, 企業・保護者対象のセミナー等を実施

★ **特別支援学校スクールバスの増便** 593,018千円  
 児童生徒数の増加に伴うスクールバスの増便

★ **通級指導教室の整備** 45,805千円  
 小学校における通級指導教室の新設及び市立高校において発達障がい等のある生徒に対する通級指導を実施



★ **医療的ケア支援体制整備** 88,956千円  
 特別支援学校に加え, 小中学校に看護師を新規で配置し, 医療的ケアが必要な児童生徒を受け入れ

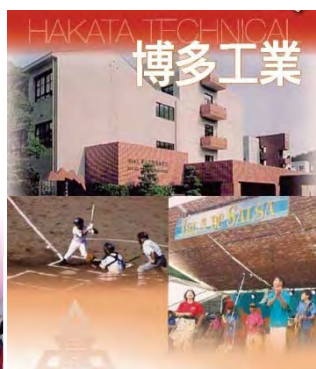


## オ 魅力ある高校教育の推進

生徒一人ひとりの進路希望を実現するとともに、勤労観・職業観を育成するため、教員の指導力向上を図り、キャリア教育を推進します。

また、「市立高等学校活性化に向けた取組方針（第2次）」に基づき、各学校の魅力を高めるための特色ある取組みを推進します。

- ・ **進路実現・キャリア教育推進事業** 5,294千円  
福岡女子高校に進路指導員の配置、各学校の特色や創意工夫を生かした外部講師による講話の実施等
- ・ **魅力ある高校づくりの推進** 8,755千円  
「福岡市立高等学校活性化に向けた取組方針（第2次）」に基づく取組みの推進等



## カ グローバル社会を生きるキャリア教育の推進

子どもたちが将来に夢や希望をもち、新しいことにチャレンジする意欲を育成するため、CAPSや未来を切り拓くワークショップの実施など、アントレプレナーシップ教育を推進します。

また、職場体験学習を実施し、勤労観や職業観を身に付け、社会的なルールやマナーを学ぶことを推進します。

- ・ **職場体験学習事業** 266千円  
全中学校で2年生を中心に3日間程度の職場体験学習を実施
- ・ **子ども日本語サポートプロジェクト（再掲）** 24,580千円
- ・ **アントレプレナーシップ教育（再掲）** 5,478千円
- ・ **小学校外国語科支援事業（再掲）** 183,601千円
- ☆ **小学校外国語活動支援事業（再掲）** 33,943千円





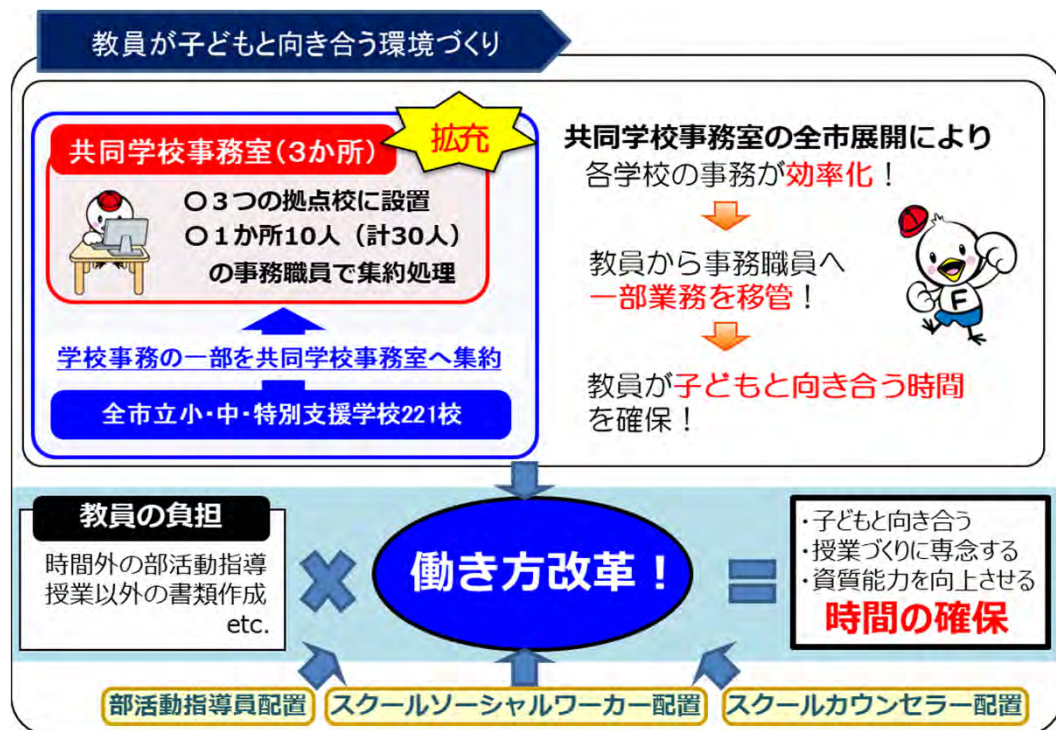
## キ チーム学校による組織力の強化，教員が子どもと向き合う環境づくり

教員が子どもたちと向き合う時間を確保するため，部活動指導員，部活動補助指導者の配置を継続するとともに，学校事務の一部を集約処理する「共同学校事務室」を全市展開します。

また，校務の情報化による事務の効率化や，学校で発生する諸問題の早期解決に向けた支援などにより，教員が子どもたちに深く関わり，指導に専念できる環境づくりに取り組みます。

### ★共同学校事務室の全市展開 7,464千円

学校事務の集約処理による効率化及び教員の負担軽減のための共同学校事務室の全市展開(平成30年度 18校 → 平成31年度 221校)



### ・教職員の指導力向上を図る研修 51,692千円

経験年数・職能・課題に応じた研修講座の実施，オンライン研修システムの構築

### ★教育ICT活用推進事業（再掲） 146,568千円

#### ・部活動の指導体制の強化（再掲） 102,230円

#### ・スクールソーシャルワーカー活用事業（再掲） 267,568千円

#### ・スクールカウンセラー等活用事業（再掲） 122,194千円

#### ・不登校対応教員の配置（再掲）

## ク 学校と家庭・地域等の連携強化

校長を中心とした組織的・協働的な学校経営を推進し、学校の組織力の強化に取り組むとともに、地域と連携し、開かれた、信頼される学校づくりを進めます。

- ・ **学校公開週間推進事業** 25千円  
市立学校を地域住民等に公開(11/1～7)
- ・ **学校サポーター会議推進事業** 3,295千円  
開かれた学校づくりを推進し、学校教育の活性化を図るため、全市立学校に設置(各学校3回/年程度の開催)
- ・ **「学生サポーター」制度活用事業** 283千円  
協定を結んだ18大学から派遣された「学生サポーター」が補助として教育活動に参加

## ケ 資質ある優秀な人材の確保、教職員の資質・能力の向上・活性化

確かな力量と豊かな人間性を備え、使命感を持って子どもたちを導くことができる教員の確保と指導力の向上を図ります。

また、メンタルヘルスマネジメントによる教員の心の健康づくりの取組みを推進します。

- ・ **多様な人材の確保** 23,410千円  
人物重視の採用選考の実施、試験方法の工夫・改善により資質・能力を備えた人材を確保
- ・ **調査研究** 9,869千円  
校内研究推進校、教育センター研究協力校の研究推進を支援
- ・ **派遣研修** 1,994千円  
国の研究機関などへの派遣研修の実施
- ・ **教職員のメンタルヘルスマネジメント事業** 9,654千円  
心の病の予防、早期対策及び職場復帰支援、再発防止の取組みを実施
- ・ **教職員の指導力向上を図る研修(再掲)** 51,692千円



小学校プログラミング教育研修会  
(教育センター研究協力校)





## コ 安心して学ぶことができる教育環境の整備

安心して学習できる良好な教育環境の確保と維持を図るため、校舎や便所等の老朽化対策を推進します。

また、「福岡市立小・中学校の学校規模適正化に関する実施方針」に基づき、小規模校や過大規模校の課題解決に向けた取組みや、西都地区新設小学校の整備に着手します。

さらに、学校給食センターについては、老朽化への対応や食物アレルギーへの対応、個別食器への変更など、給食の充実を図るため、第3給食センターの建設工事に着手します。

- ・ **大規模改造事業** 3,207,495千円  
経年により老朽化した校舎等の大規模改造
- ・ **校舎及び附帯施設等整備** 3,161,883千円  
内外壁やグラウンド等学校附帯施設の改修,トイレの洋式化・乾式化等
- ・ **学校規模適正化事業** 860,456千円  
照葉北小学校の開校(平成31年4月),高取小学校の校舎増築,平尾小学校のグラウンド整備,旧大名小学校の東校舎解体等



【写真：照葉北小学校】

- ★ **西都地区新設小学校整備** 953,096千円  
西都地区新設小学校の整備に向けた用地取得及び造成工事等
- ★ **文教施設災害復旧事業** 478,682千円  
平成30年7月豪雨で崩落した西陵中学校の擁壁復旧工事等
- ・ **学校給食センター再整備事業** 1,680,860千円  
第1,第2給食センターの運営及び第3給食センターの建設等
- ☆ **小・中学校入学準備金の充実** 301,483千円  
就学援助対象者のうち,新1年生に対する入学準備金を増額  
(小学校:40,600円→50,600円 中学校:47,400円→57,400円)

## サ 子どもの安全確保に向けた取組みの推進

子どもたちの登下校時の安全確保を図るため、小学校1年生及び市外からの転校生に防犯ブザーを配付するとともに、スクールガードリーダーによる学校の巡回指導やスクールガード養成講習会を実施します。

また、通学路における点検結果を踏まえ、関係機関と連携を図りながら、地域ぐるみで学校の安全を守る取組みを進めます。

- ・ **子どもの安全対策** 4,298千円  
小学校1年生及び市外からの転入生に防犯ブザーの配布
- ・ **地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業** 1,492千円  
スクールガードの養成、スクールガードリーダーによる巡回指導等



## シ 家庭・地域等における教育の推進

子どもたちが基本的な生活習慣や規範意識を身に付けるため、家庭教育に関する学習情報の提供や、PTAと連携した講座・講演会等の実施など、地域全体で家庭教育を支援する取組みを推進します。

また、人権尊重のまちづくりに取り組む市民の主体的な活動への支援を通して、人権教育を推進します。

- ・ **家庭教育支援事業** 5,571千円  
入学説明会等を活用した保護者学習会への講師派遣、PTAと連携した講座等の実施
- ・ **NPOとの共働による不登校児童生徒の保護者支援事業** 1,221千円  
不登校についてのセミナー等の開催、「不登校ほっとライン」の運営
- ・ **家庭の教育力パワーアップ事業** 7,000千円  
保護者グループの家庭教育に関する学習活動の支援
- ・ **地域学び場応援事業（再掲）** 3,000千円
- ・ **教育相談機能の充実（再掲）** 74,131千円



PTAとの連携事業  
「早寝早起き朝ごはん啓発講演会」

# その他の主な施策概要

## ア 人権教育の推進

「第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画」に基づき、学校教育においては、学校の教育活動全体を通じて人権教育の積極的な推進を図るとともに、社会教育においては、人権尊重のまちづくりに取り組む市民の主体的な活動への支援を通して、人権教育を推進します。

- ・ **人権啓発地域推進組織育成** 40,227千円  
人権啓発地域推進組織の活動支援, 補助金交付
- ・ **共生する地域づくり事業** 3,250千円  
人権課題の当事者を中心とするグループが行う人権問題に関する学習や啓発活動の支援
- ・ **学校における人権教育（再掲）** 15,737千円
- ・ **家庭の教育力パワーアップ事業（再掲）** 7,000千円
- ・ **地域学び場応援事業（再掲）** 3,000千円

## イ 図書館事業の充実

「福岡市総合図書館新ビジョン」の基本理念「市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる、新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館」をめざし、魅力ある図書館づくりを推進します。

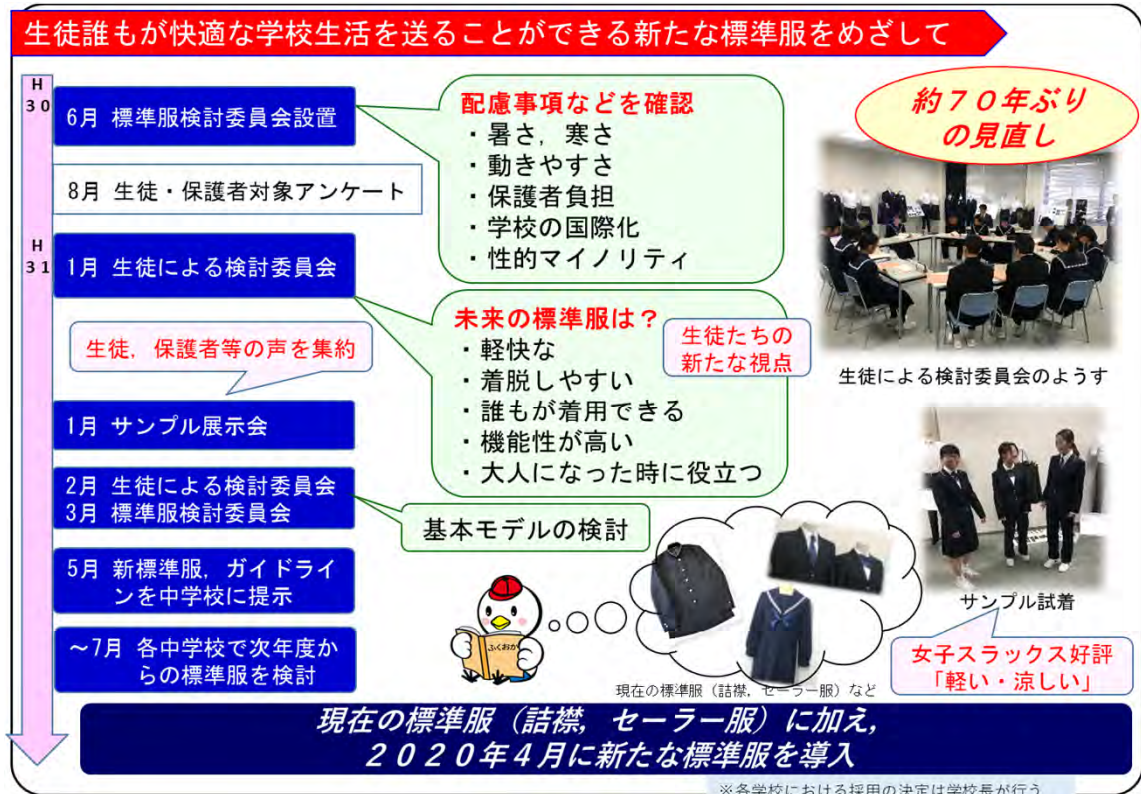
- ・ **魅力ある図書館づくりの推進** 185,478千円  
新ビジョン事業計画の推進
- ・ **図書館資料収集等** 186,551千円  
図書資料, 文書資料, 映像資料の収集・整理・保存等
- ・ **総合図書館施設整備費** 190,077千円  
総合図書館の建物・設備等の修繕及び更新





## ウ 中学校標準服のあり方検討

すべての生徒が、安心して快適に、そして自分らしく学校生活を送ることができる新たな標準服を目指し、生徒、保護者、地域、教師など、様々な意見をもとに検討します。



## 2 事業・業務等の見直し

### 現状及び課題

#### (1) 事業の選択と集中

財源に限られる中、教育に関する様々な市民ニーズに応じていくためには、時代に合わなくなったものや優先順位が低くなったものを見直し、より一層の重点化や効率化を進める必要がある。

#### (2) 組織の最適化

多様化する市民ニーズや様々な教育課題に対応していくためには、既存の組織にとらわれず、時代に合った実効性の高い組織体制を構築する必要がある。

### 取組みの方向性・具体的な取組み

#### (1) 事業の選択と集中

既存事業の費用対効果や優先順位を厳しく吟味し、事業の選択と集中を図ることで、「確かな学力の向上」、「いじめ・不登校等の未然防止・早期対応」、「特別支援教育の推進」、「教員が子どもと向き合う環境づくり」などの重要施策を学校と教育委員会事務局が一体となって着実に推進する。

#### (2) 組織の最適化

教育施策の充実や新たな教育課題等に対応するため、組織の見直し・再編を実施するとともに、引き続き民間活用の推進や既存の組織の最適化を図る。





### 3 コンプライアンスの推進、人材育成・活性化等

#### 現状及び課題

##### (1) 不祥事の再発防止

体罰や個人情報の不適切な取扱いなど、教職員における不祥事が相次いで発生しており、福岡市の教育や教職員に対する市民の信頼回復に向け、これまでの取組みをより一層充実させるとともに、教職員のコンプライアンス意識を高める取組みを検討する必要がある。

##### (2) 教職員の資質・能力の向上・活性化

教育施策の着実な推進及び知識・技能の継承のため、教職員の資質・能力の一層の向上・活性化を図る必要がある。

##### (3) 働きやすい職場環境づくり

職員が心身ともに健康で、やりがいをもって、業務に取り組むことができる職場環境づくりを進める必要がある。

##### (4) 情報セキュリティ対策の強化

情報資産をとりまく環境の変化に対応するため、教育現場においても、情報セキュリティ対策の強化を図る必要がある。

#### 取組みの方向性・具体的な取組み

##### (1) 不祥事の再発防止

「体罰」の根絶に向けた新たな取組みを着実に実施する。また、倫理研修のさらなる充実強化を図るとともに、学校訪問による教職員に対する服務指導研修の実施や、学校長等との服務指導面に係る意見交換を通じて、不祥事防止に向けた学校と教育委員会との意識の共有化を図り、教職員一人ひとりの認識を高める。

##### (2) 教職員の資質・能力の向上・活性化

「福岡市教員育成指標」に基づいた研修講座の実施や、個別の課題やニーズに応じて選択できる研修の充実などに取り組むとともに、学校にいながら学習指導や生徒指導の研修を受講できるオンライン研修を開設する。

また、研究推進の支援を行ったり、表彰等により意欲を高めたりすることで、教職員のより一層の資質・能力の向上・活性化を図る。

##### (3) 働きやすい職場環境づくり

業務改善等による職員の働き方改革を推進し、特に、学校においては、学校閉庁日の設定や定時退校日の取組みを徹底するなど、教員が心身ともに健康で、授業や指導に取り組める環境づくりを進め、学校教育の一層の充実を図る。

##### (4) 情報セキュリティ対策の強化

情報管理についての服務規律の徹底を図り、USB等外部記録媒体の適正利用や情報漏洩対策セキュリティ機器の活用を推進する。



## Ⅱ 教育委員会 予算

平成31年度福岡市一般会計予算は、約8,666億円で、前年度と比較すると、約278億円の増額となります。

うち、教育委員会所管の予算は、約1,231億円で、一般会計に占める割合は14.2%となり、前年度と比較すると、約25億円の増となります。また、率にすると、一般会計全体の伸び率が3.3%であるのに対し、2.1%の増となっています。

増加の主な理由は、学校の大規模改造や校舎増築などの建設費や老朽化した校舎等の維持補修費、新規及び拡充した事業の経費などによるものです。

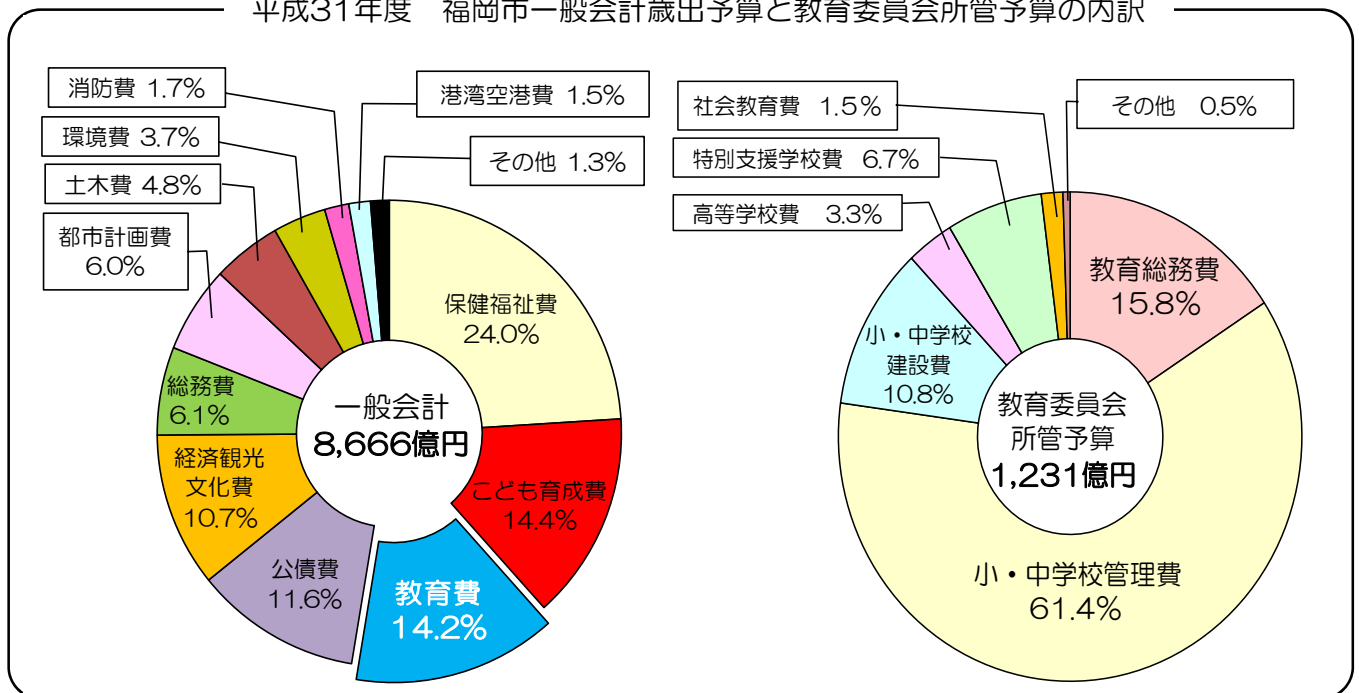
福岡市の平成31年度予算の詳細については、福岡市ホームページをご覧ください。  
 「福岡市HP」→「市政全般」→「予算・決算・市債・寄付等」→「予算」

### 教育委員会所管の平成31年度当初予算（一般会計）の規模

(単位：千円)

区 分	平成31年度	平成30年度	差引増減	伸び率
一 般 会 計	866,640,000	838,769,000	27,871,000	3.3%
う ち 教 育 委 員 会 所 管 予 算	123,138,770	120,600,425	2,538,345	2.1%
一 般 会 計 に 占 め る 教 育 費 の 割 合	14.2%	14.4%		

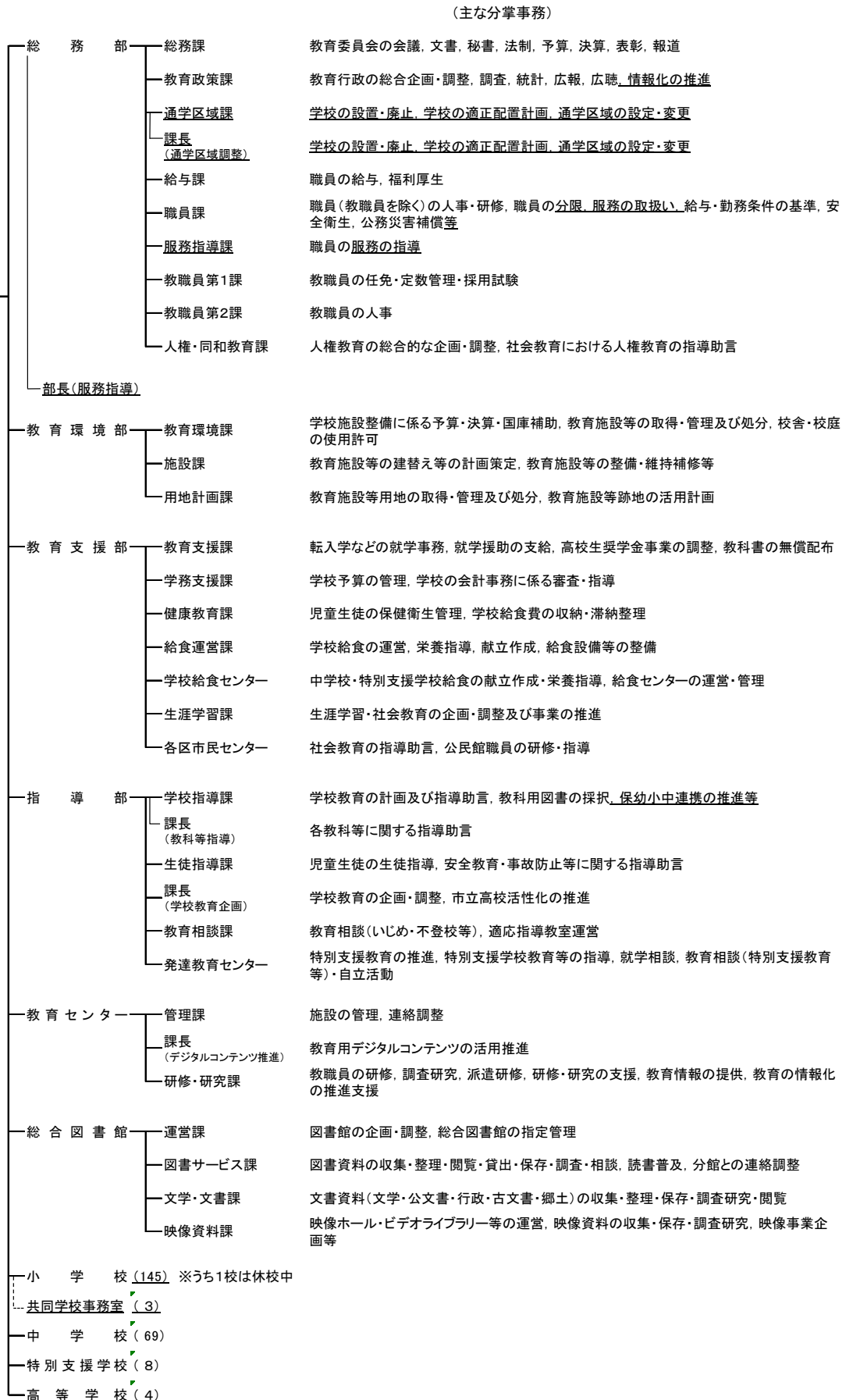
平成31年度 福岡市一般会計歳出予算と教育委員会所管予算の内訳



# III 教育委員会 組織図

- 教育委員会  
 教育長 星子 明夫  
 委員 木本 香苗  
 委員 町 孝  
 委員 菊池 裕次  
 委員 原 志津子  
 委員 武部 愛子

- 教育次長  
 理事



※ 下線部は平成31年度に新設や名称等の変更を行った組織です。







## 福岡市の教育施策

平成31年4月

編集発行 福岡市教育委員会（総務部教育政策課）  
〒810-8621  
福岡市中央区天神一丁目8番1号  
TEL：092-711-4412  
FAX：092-711-4600  
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/kyouiku/>